



小笠原村立小笠原中学校

学校だより

令和3年3月1日 第11号

小笠原村立小笠原中学校

校長 小野満 賢

学校ホームページ

<http://www.ogachu.que.ne.jp/>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



あなたのロールモデルは誰ですか

校長 小野満 賢

令和2年度は目に見えない相手との闘いに困難を極めた一年でした。しかし、本校は決して下を向かなかったという自負があります。しっかりと前を向き、生徒のために「何をどうすれば実現できるか」を考え、保護者・地域の皆さまのご理解・ご協力をいただきながら、教職員が一丸となって次の一手を打ち続けました。おかげさまで、多くのことが何とかなりましたし、1年間を通してチームでやり切ったという充実感があり、より結束力が高まった感じがします。とは言え、生徒たちには変更次ぎ変更で不安な思いをさせたり、負担をかけたりしたところも多々あります。特に学校は人と人との密な関わりの中で多くを学び成長し合うところですが、いまだに互いに距離を置き、極力対面で話すこともせず、マスク越しの表情の見えないやり取りを続けさせなければならないことに歯がゆい思いをしています。

しかし、先日から医療関係者へのワクチンの先行接種が始まりました。終息にはまだ時間がかかるのですが、確かな明るい光が差し込んできました。待ち望むその日が来た時には、再び生徒たちの笑顔があふれ、笑い声が響く学校にしたいという思いを強くしました。

先日3年生の「よりよく生きる」をテーマにした道徳を見ました。「ローマの休日」で有名なハリウッド女優オードリーヘップバーンさんが映画界を退いた後、ユニセフの親善大使になり、多くの恵まれない子供たちのために半生をささげた生き方を取り上げていました。今回担当した先生はヘップバーンさんのことが大好きで大きな影響を受けていることを以前から聞いていました。先生が生徒に、あこがれの人は誰かと尋ねたところ、イチロー選手や大坂なおみ選手、ユーチューバーのヒカキンさんやBTSのジンさん、男子バレーボールの西田選手等の名前が挙がり、その「推し」の理由を熱く語っていました。

「あこがれの人」つまり自分が将来こうありたいと目標にする人物を、ロールモデル (role model) といいます。

ついこの間、その言葉をALTの先生から聞いたばかりでした。先月私が20年以上もお世話になっている方とお会いする機会があり、今日 (こんにち) に至るまでその方から実に多くのことを学び、その方がいなかったら今の自分はないという話を、拙い英語を駆使して彼女にした時に「He is your role model.」という返事が返ってきました。「ロールモデル」は、今でこそ日本でもよく耳にしますが、今まで自分のこととして考えたことが無く、こういう場面で使われるのだと新鮮に感じたばかりでした。海外では「Who is your role model?」と聞かれるほどかなりポピュラーな使い方をされているようです。自分が手本にしたい人がいるということは、具体的な行動や考え方の規範となり、モチベーションが上がるだけでなく、自分自身の将来像を描きやすいということで、企業での若手育成やキャリア教育でも注目されています。

意識したことがないかもしれませんが、将来こうありたい、こんな風になりたいと思う人は意外と近くにいないのではないのでしょうか。

私が小学1年生の時の担任のO先生は、字がとてもきれいな先生でした。チョークで書いた大きな板書の字も、赤いペンで書いた連絡帳へのひとことの字もとても美しく、子どもながらに「上手だなあ」と思っていました。私は「O先生のようなきれいな字が書きたい。」と思うようになり、小学3年生になった時に、親にせがんで習字を習い始めました。いつしか「O先生のようなきれいな字を書く先生になりたい。」と変化し、自分の将来の夢になりました。

高校2年生の時の数学のW先生は、いつも『余計な』一言を言う先生でした。難しい問題を出す時に、「君たちにはたぶん無理でしょう。」とか「君たちの実力では太刀打ちできないと思います。」と一言付け加えて、生徒たちを『挑発』するのです (『 』内は高校時代の私が勝手に思っていたことです)。悔しくてたまらない私たちは、W先生を何とか見返してやろうと、競ってその問題に向き合いました。家に帰ってからもひたすら数学の問題に取りかかります。寝る間を惜しんでずっと数学のことを考えているの

で、夜中に解法がひらめき、布団から飛び起きて、机に向かったりすることもありました。翌日、得意満面で問題ができたことを伝えに行っても、W先生は、「偶然に、たまたま、できることはあります。」と言うだけです。そしてまた「これは到底無理でしょうね。」と新たな問題を出されるのでした。後になって思えば、私たちはW先生の手法にまんまと乗せられていたことが分かります。時間をかけて真剣に数学に向き合い、解けた時の喜びや達成感を体中に染みこませることができたのはW先生のおかげで、この経験が数学の先生を目指すきっかけとなりました。また仕事に就いてからも、生徒のやる気を出させる方法を常に考えるようになりました。

ロールモデルはトップアスリートや有名なアーティストや歴史上の偉人ではなくともいいのです。身近なところで、「この人のここがすごい」「真似したい」と思うことはあるでしょう。それが自分を高める一つのきっかけになるのだと思います。また、ロールモデルは必ずしも一人とは限りません。自分が得たい知識や身に付けたいスキルに応じて複数のロールモデルを設定してもいいのです。コミュニケーション能力の高い人、ノートのまとめ方がうまい人、スケートボードが上手な人、いつも計画的に物事を進められる人、永遠にリフティングが続けられる人、歴史にとっても詳しい人、笑顔の素敵なお人、後輩に慕われる人等々、「いいな」と思うことは様々です。その人がどんな行動をとり、考え方をしているのか、よく観察をして真似てみるのがその人に近づく第一歩です。そしていずれ自分自身が誰かのロールモデルになれるように人間性やスキルを磨いていくことも大切です。

4月からは大なり小なり環境が変わり、きっと新たな出会いがあります。「この人にはどんないいところがあるのかな。」そんな考え方ができたら自分自身を大きく成長させることのできるチャンスなのだと思います。

先の道徳の授業を行った先生は、あこがれの人としてヘップバーンさんの他、大坂なおみさん、ステイブジョブズさんに続けて、99歳になるという自分のおばあちゃんを紹介していました。

「彼女の前向きなところを私は尊敬しています。」という言葉が印象的でした。

「1年間を振り返って」

第1学年

第1学年主任 湯本 美樹

令和2年度入学の1年生は過去最大の人数ということで、例年行われていることが、例年通りにはできないということが多く、その都度考え直すことばかりでした。なるべく同じことをさせてあげたいけれど、工夫だけでは何ともならないこともあり、生徒には申し訳なく思っています。しかし、生徒たちは元気で明るく、教室にはいつも笑い声があふれています。授業中の話合いや発言なども活発で、活力のある集団であると感じます。課題であった授業中の私語や忘れ物に対する意識も、少しずつではありますが改善されてきています。来年度は、これから小笠原中学校を背負っていく学年として、さらに大きく成長することを願います。

第2学年

第2学年主任 宮本 寛信

今年度の学校はありとあらゆるところで、例年と違うことだらけでした。硫黄島訪島事業、部活動の遠征、小中高連合運動会など、大きな行事が中止になりました。実施できた行事であっても、縮小されました。しかし、そのような逆境の中でも2年生は行事に真摯に取り組み、2学期からは学校を引っ張っていく責任を背負い、部活動や委員会に臨むことができました。授業中も一生懸命学習する姿が見られ、1年間の成長が非常に感じられる日々でした。4月からの生活はコロナの影響で、中学校1年生のときのように制限なく行事が実施できるかどうか分かりませんが、新1年生からも尊敬される、頼りにされる先輩としてさらに学校を盛り上げてほしいと思います。中学校の総まとめになる3年生は今まで以上の成長を期待しています。

第3学年

第3学年主任 高橋 郁美

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年のようには過ごせないことが多々ありました。そのような中でも、10月に修学旅行を実施できたことは何よりの救いだったように思います。絶対に行きたいという生徒たちの思い、何とかして連れて行きたいという教員の思い、不安はあるけれど実現させてほしいという保護者の方々の思いと理解を得て、また、たくさんの方々のサポートによって実施することができました。生徒たちにとってかけがえのない思い出がたくさんできました。それと同時に生徒たちは大きく成長しました。自分で考えて行動する力、周りの人のことを考えて行動する力が身に付いたと感じています。

3年前、緊張した面持ちで入学してきた生徒たちが、たくさんのことを学んだり経験したりしたことで、どんな表情で卒業式を迎えるのか。最後まで見守り続けたいと思います。

作品展示

文化行事委員会 野内 由紀子

2月15日(月)～18日(木)に作品展示を行いました。国語の書き初め、理科・総合的な学習の時間のレポート、美術・技術・家庭科の作品等、今年度生徒が一生懸命に取り組んだ作品が展示されました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者・地域の方々へ公開することができませんでしたが、Facebookに生徒の作品を掲載しておりますのでご覧ください。

国語「全学年：書き初め」
理科「1・2年：夏休みの自由研究レポート」
美術「1年：絵文字」「2年：季節をイメージしたオリジナル和菓子の制作」「3年：私は印象派」
技術「1年：鉛筆立て」「2年：本立て」
家庭「1年：肉・魚・野菜レポート」「2年：布を用いた製作品」「3年：保育実習レポート」
総合「1年：母島移動教室事前学習レポート」「2年：職場体験新聞」
「3年：修学旅行上級学校訪問レポート」
美術部「全学年：木彫ドアプレート」



第1学年「総合発表会」



第1学年担当 佐々木 若葉

第1学年では、母島移動教室について実行委員会を中心に1学期から準備を進めてきました。この事前学習をもとに総合発表会に向けてプレゼンテーションソフトを利用してまとめ、総合発表会において1人1テーマについて発表しました。母島について様々な角度から調べ学習を行うとともに、全校生徒の前でパソコンを使いながら初めてのスピーチを行うため、どの生徒も工夫を凝らして準備をしてきました。今年度は移動教室が3月に実施予定となり、この発表会后に現地を訪れることとなりますが、調べたことをもとに実際の様子を見て学習を深めてほしいと思います。

第2学年「総合発表会」



第2学年担当 野田 さくら

2月18日(木)に総合発表会が行われ、2年生は「平和学習」「夜明山戦跡調査」「硫黄島」「職場体験」について各グループに分かれ、発表しました。

例年であれば、2年生は硫黄島について調べ、実際に足を運び経験した上で発表となりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で年度当初に硫黄島訪島事業が中止となったことから、この1年間の総合的な学習の時間に学んだ内容を全て盛り込み、発表しました。

発表の際に使用するプレゼンテーション資料は、自分たちで作成し、写真を効果的に使ったりアニメーションなどを駆使したりするなど、それぞれ工夫を凝らしていました。

また、原稿をただ読むのではなく、自分で作ったプレゼンテーション資料を基に、伝えたい内容をしっかりと頭に入れた上で発表する姿はとても堂々としていました。

来年はいよいよ最上級生となり、人の前に立つ機会も多くなる2年生にとって、今回さらに成長することができた姿を発表できたことは、とても良い経験になったのではないのでしょうか。これからのさらなる成長を期待しています。

第1学年「母島移動教室」

第1学年担当 山浦 康志

例年であれば6月に行っている母島移動教室ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は3月に延期となり、いよいよ3月6日（土）から8日（月）の2泊3日で実施されます。

今年度の移動教室は、教員含め37名とこれまでで一番大人数での活動になります。そのため、密にならないように見学先を2グループに分けて訪問することになっています。また、石門の入山規制の関係もあり、全員で石門に入山せず、外来種駆除活動・海岸清掃を新たに行程に加えるなど、3日間の内容も例年と違いがあります。これまでと違う母島移動教室になりますが、これまで以上に充実し楽しく思い出深いものになるように願っています。

昨年5月から始まった事前の取組も、3月で10カ月目となります。この期間、生徒たちは母島移動教室に行くことを前提として、学習はもちろん普段の生活（時間を守る、宿題をする、手洗い・うがい、マスク着用などなど！）にも気を付けて活動してきました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会情勢から、なかなか見通しのもてない中ではありましたが、実施できることを信じて頑張ってきました。そしていよいよ母島移動教室に行ってきます。海が穏やかでありますように。

郷土講座「ふるさと小笠原の工芸品や料理に親しむ」

教務部郷土講座担当 佐々木 若葉



地域の皆様のご協力により、今年度も3月24日（水）午後には郷土講座を開催します。1・2年生計50名を対象に、6講座（イカバケ作り：山田良一様、タコノ葉細工：大井康代様、ガラスコップ作り：猿渡浩一様、紙すき：森脇美知様、プリザーブドフラワーアケサラー作り：峯岸洋恵様、島料理作り：上部仁様）に分かれて制作等を行います。ふるさと小笠原の工芸品や料理に親しむ貴重な機会として、ご指導くださる講師の皆さまに感謝申し上げます。（写真は昨年度実施の郷土講座より）

3月の行事予定

1日（月）学校朝礼 自転車安全点検 各種委員会 中央委員会	15日（月）学校朝礼 3年生を送る会（4校時） SC勤務 校内研修
2日（火）都立一次合格発表・手続き 部長会 中央委員会 合同委員会	16日（火）都立二次合格発表・手続き 5時間授業（1・2年）
3日（水）午前授業（昼食なしで下校）校内研修	17日（水）卒業式予行練習
4日（木）食育講話 SC勤務 テスト反省	18日（木）SC勤務 卒業式準備 三者面談終（1・2年） 午前授業（3年）（昼食なしで下校）
5日（金）振替休業日（1年）都立二次出願	19日（金）卒業式
6日（土）母島移動教室始（1年）	20日（土）春分の日
8日（月）母島移動教室終（1年） ゲートボール交流会（3年）	22日（月）学校朝礼 保護者会（15：00～） 5時間授業（1・2年）
9日（火）安全指導 振替休業日（1年）	24日（水）大掃除 郷土講座
10日（水）生徒会朝礼 都立二次入試 職員会議	25日（木）全体学活 修了式 離任式
11日（木）球技大会（1～4校時）お弁当の日 三者面談始（1・2年） 5時間授業（1・2年）	26日（金）春季休業日始
12日（金）卒業遠足（3年） 5時間授業（1・2年）	28日（日）出迎え式 31日（水）見送り式

※ 3月3日（水）は校内研修のため、生徒は午前授業で昼食を摂らず下校します。

※ 来年度4月当初の予定 6日（火）始業式 7日（水）入学式 16日（金）保護者会

※ 今年度最後の学校だよりとなりました。令和2年度も保護者・地域・関係機関の皆さまにおかれましては本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございました。来年度も引き続きご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。